

令和5年度校長マネジメント経費 年間予算執行状況及び実施報告書

標記につきまして、令和5年度の執行状況及び実施内容を、下記のとおり報告します。

年間執行額合計		¥1,032,258				作成年月日		令和6年3月28日			
	報償費	旅費	消耗需用費	維持需用費	役務費	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金、補助及び交付金	その他	合計
年間執行額	¥135,000	¥45,680	¥761,388				¥5,000		¥85,190		¥1,032,258

事業番号	経営計画番号	重点目標	主な依頼内容（物品名・支出目的等）	成果
1・5	3-(2)	共生社会の実現に向けた取組み	地域の水田を借りて小学部の児童が稲作を地域の方とともに体験する活動で、稲、鍋、鎌等の購入等を行った。	◎
2	3-(2)	共生社会の実現に向けた取組み	人権研修資料代ほか／校内の人権研修につなげることができた。	◎
3	3-(2)	共生社会の実現に向けた取組み	手話を通じた障がい者理解教育／手話パフォーマンスグループの招聘により子どもたちの他の障がい理解が深まった。	◎
4	2-(3)	専門性の維持・向上	PECSの活用を促進するため、PECSの第一人者である門医師を講師に招聘して、校内研修会を実施した。	◎
6	2-(3)	専門性の維持・向上	梅花女子大学教授に年間2回個別の児童生徒の実態を観察いただき、行動の問題等への対応について指導助言をいただき、全体で共有した。	◎
7	2-(2)	シラバスの充実	指導と評価の年間計画（シラバス）の改善と活用の方法について、大学教授から講義を受けた。	◎
8	2-(2)	シラバスの充実	児童生徒の実態把握のため、S-M社会生活能力検査を全校児童生徒に実施した。	◎
9	2-(3)	専門性の維持・向上	中学部生徒が運動会等で取り組むダンスについて、中学部教員らが専門家から振り付け等の指導助言を受ける研修を実施した。	◎
10	3-(2)	共生社会の実現に向けた取組み	園芸高校の生徒が育てた花苗を、本校児童生徒がアレンジして植えるという児童生徒間の交流を行い、共生社会の在り方を双方の生徒らが学ぶことができた。	◎
11	2-(1)	ICT機器の活用	ICT機器の翻訳機能を活用し、児童生徒が外国人講師であるT-netと交流し、国際理解教育を進めることができた。	◎
12	2-(2)	シラバスの充実	PECSアプリを購入し、小学部でPECSを活用して意思の表出ができるようになった児童が中学部でも継続して取り組める環境を整えた。	◎
13	2-(2)	シラバスの充実	学習指導要領に基づく指導を進めるため、指導用図書を購入した。	◎
14	2-(1)	ICT機器の活用	電子黒板の一層の活用を進めるため、スピーカーやその他の周辺機器を購入した。	◎
15	1-(3)	安全安心な環境整備	児童生徒が安心して安全に学校生活を送るため、所在不明防止のためのGPS装置や、摂食補助具、その他の機材を購入した。	◎